

令和8年度「せたがや会議～みんなで考える多文化共生のまち～」

(外国人・日本人区民による意見交換会)

実施報告

1. 目的

国籍を問わず誰もが暮らしやすい多文化共生社会の構築に向けて、区民同士で日頃から感じていることを意見交換し合うことで、課題や情報を共有し、問題についての認識を深めるとともに、参加者同士の交流機会創出を目的とする。

2. 開催日時

令和8年9月5日（土）午後2時～午後4時30分

3. 開催場所

三茶しゃれなあどホール（オリオン）（世田谷区三軒茶屋1-41-10）

4. テーマ

あなたに見えている多文化共生のまちづくりの中にある「バリア」をみんなで共有し、私たちが暮らしやすいまちについて一緒に考えましょう。

＜内容＞

地域での生活の中で感じるバリアや、それをこえるために必要なものをコラージュで表します。そのあと、作品を見ながらみんなで話し、おたがいの経験や考えをもとに、これからの多文化共生に向けた意見交換をします。

※コラージュは、雑誌や新聞の写真、言葉などを切って貼り、みなさんの気持ちや考えを自由に表現するものです。

5. 参加者数

計26名 ※公募による

（1）外国人区民10名

（2）日本人区民16名

6. 全体コーディネーター及び協力者

（1）講師：吉田 千春氏（中央大学法学部准教／イクリスせたがや代表）

：田 知殷氏（明治大学国際日本学研究科博士後期課程）

（2）グループファシリテーター：大学生等による学生ボランティア13名

（上智大学院、明治大学、中央大学）

(3) 通訳：英語 2 名

※通訳希望のあった参加者のいるグループのみ配置

7. 「せたがや会議」の流れ

時間	内容
14:00～	開会、講師の紹介など
14:15～	アイスブレイク (簡単なコラージュ練習、自己紹介) コラージュを通じた意見交換 (地域のバリアをこえ、多文化共生のまちづくりを考える)
16:10～	意見交換、コラージュの共有、まとめ
16:30	閉会

当日の活動の様子



コラージュの様子①



コラージュの様子②



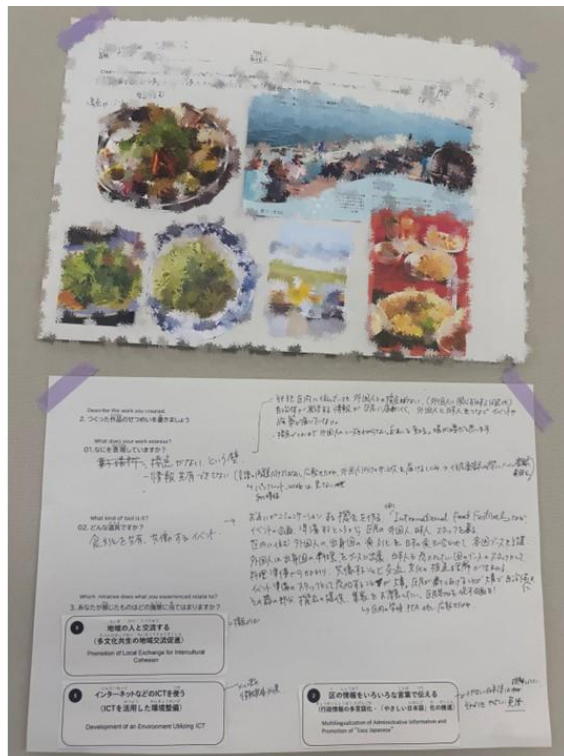
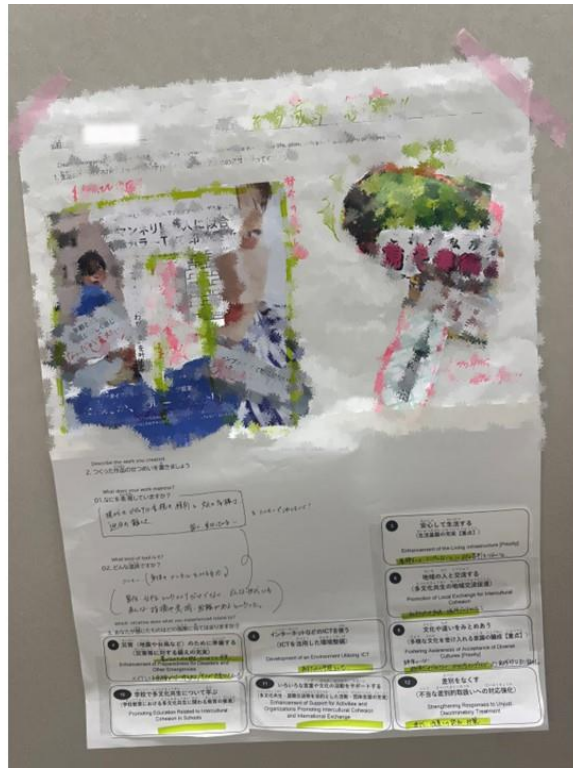
コラージュの様子③

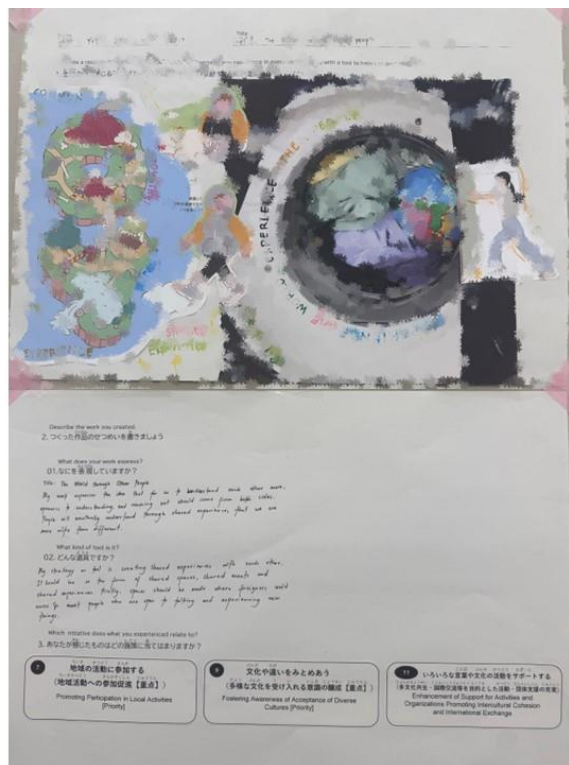
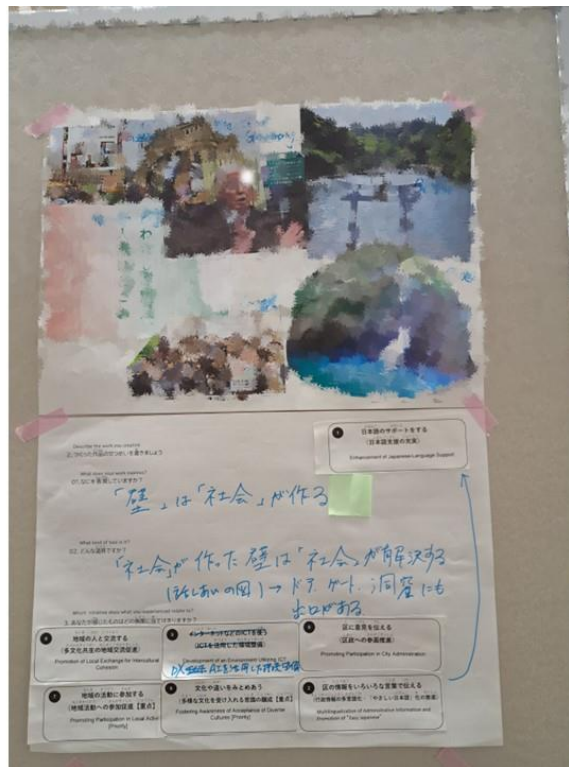


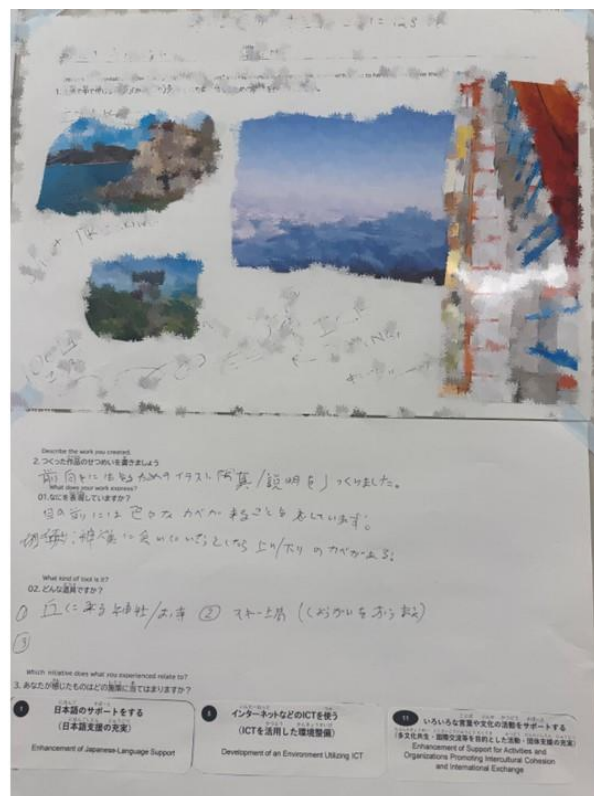
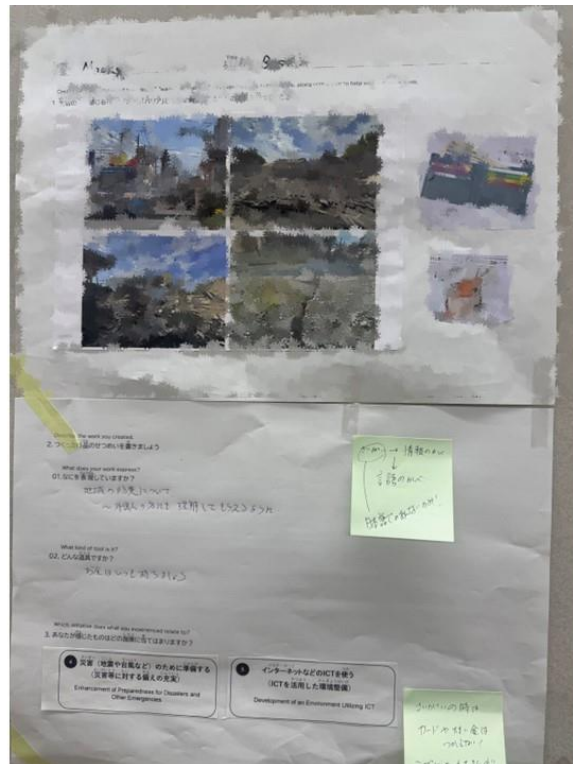
全体の様子

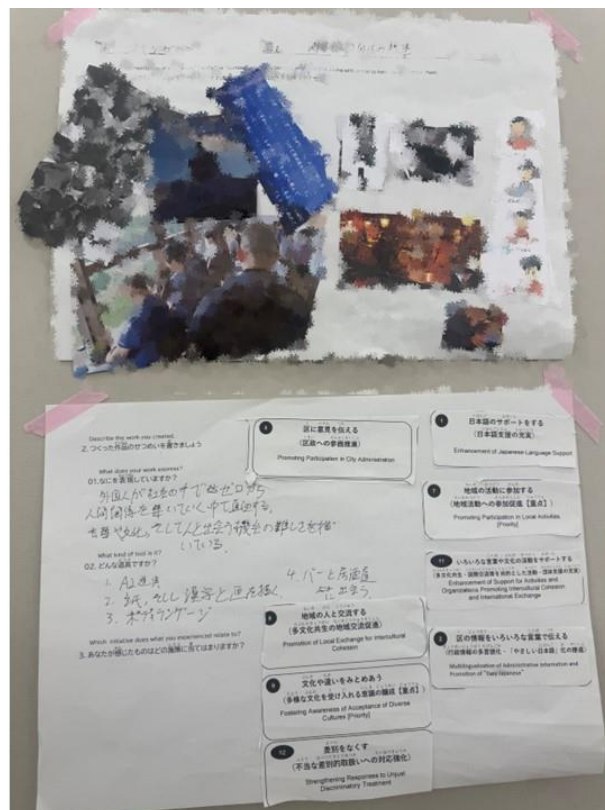
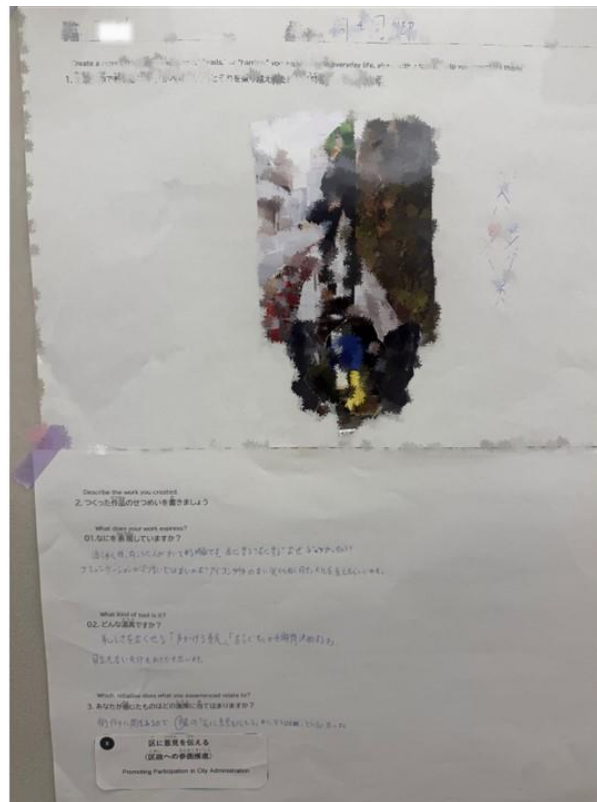
8. グループワーク（コラージュ）で出た意見

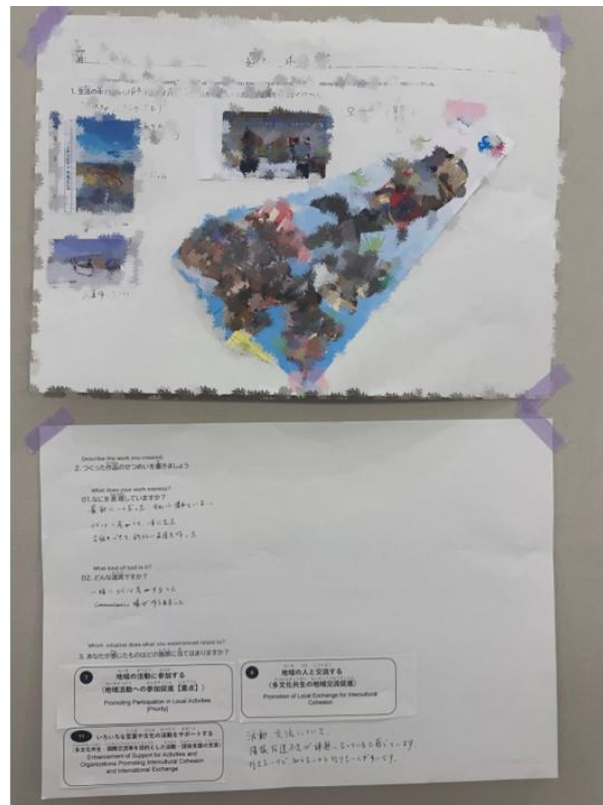
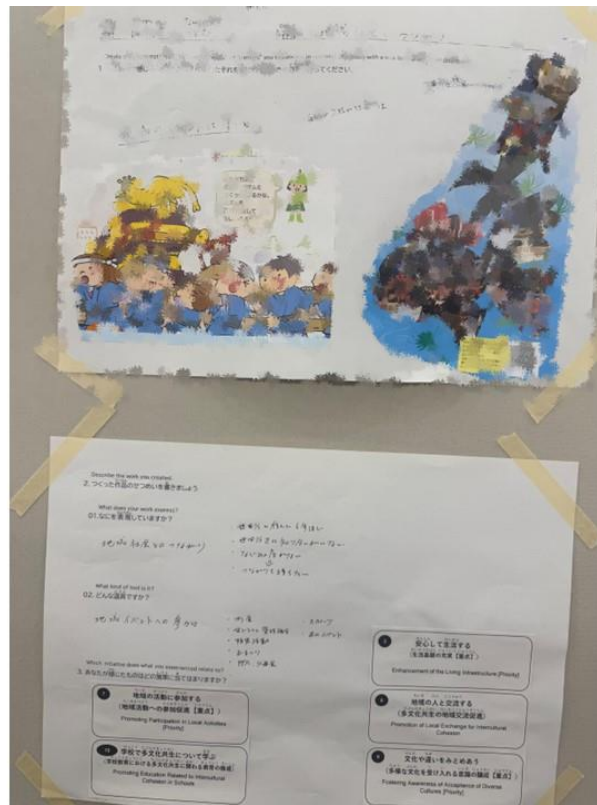
※画像は加工しています。

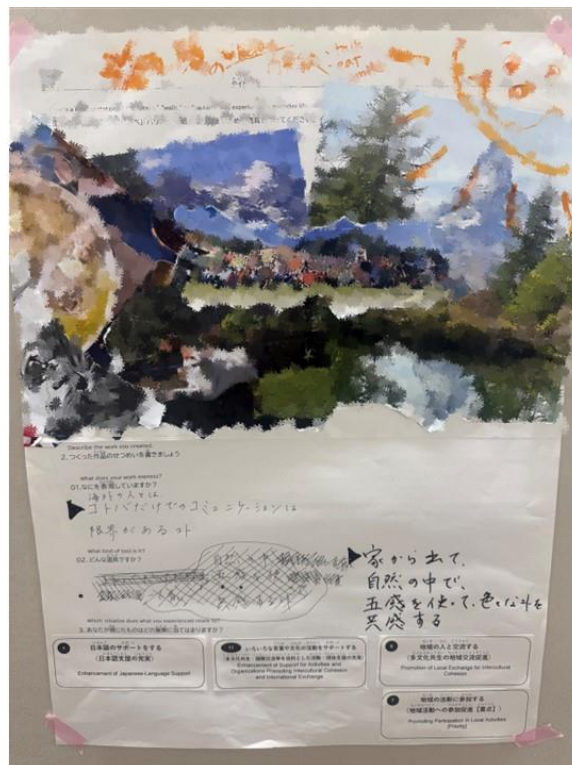
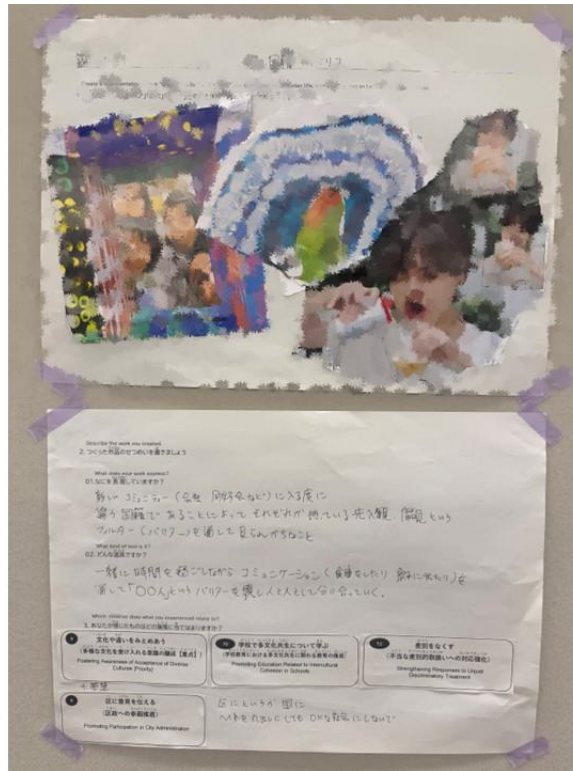


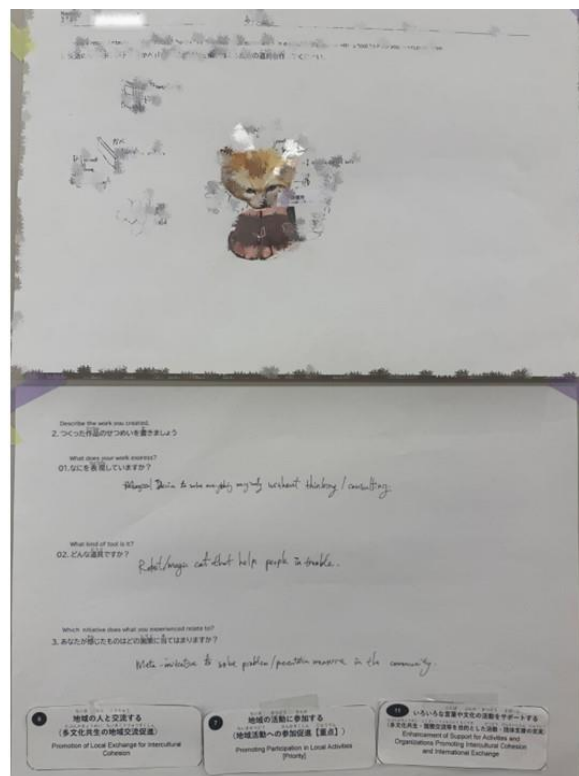
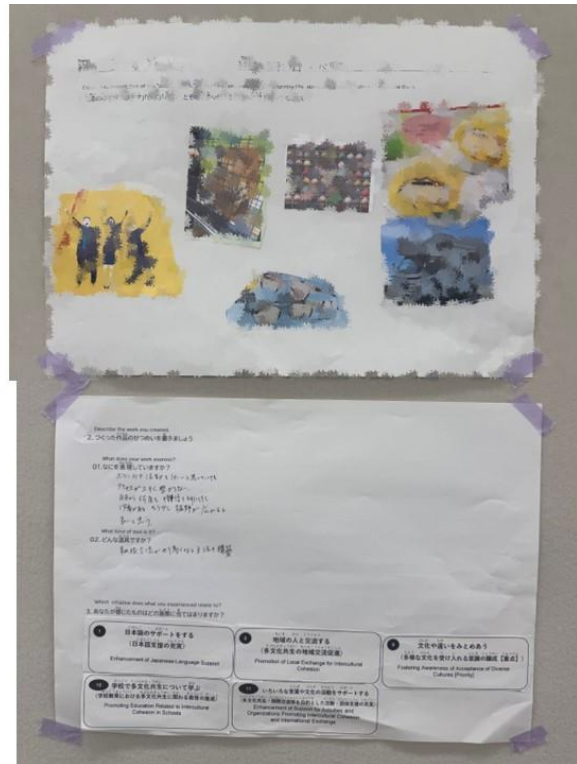


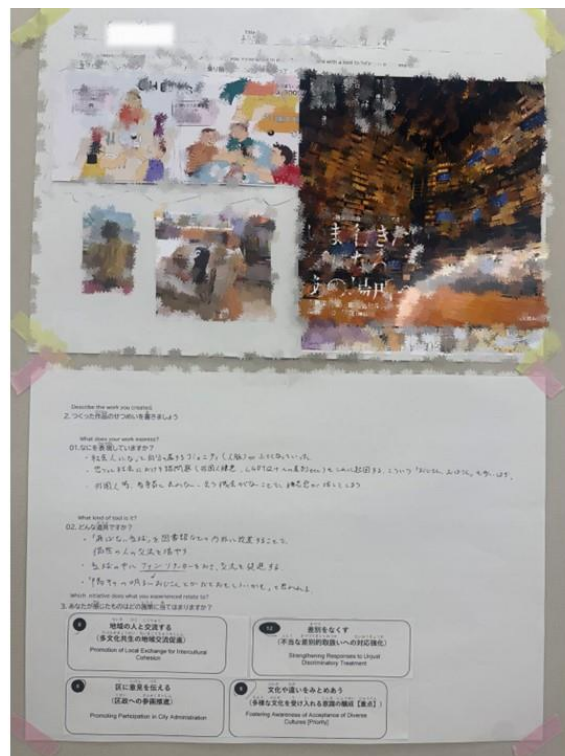
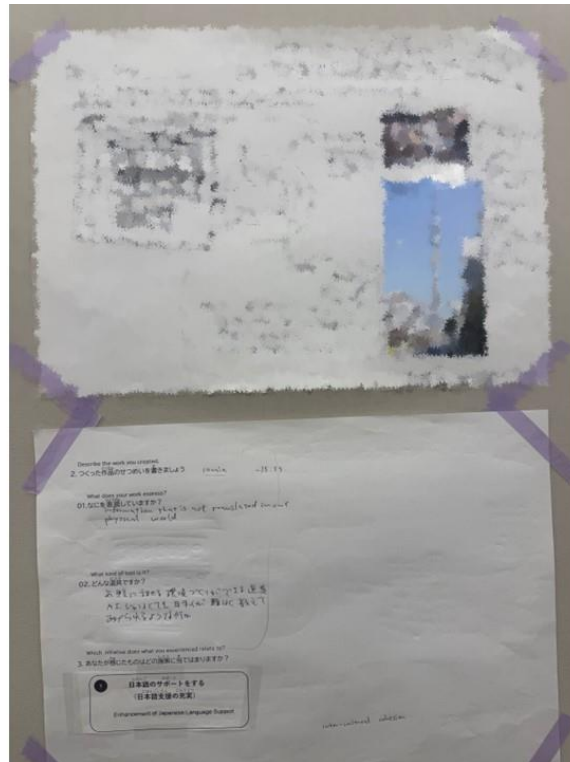


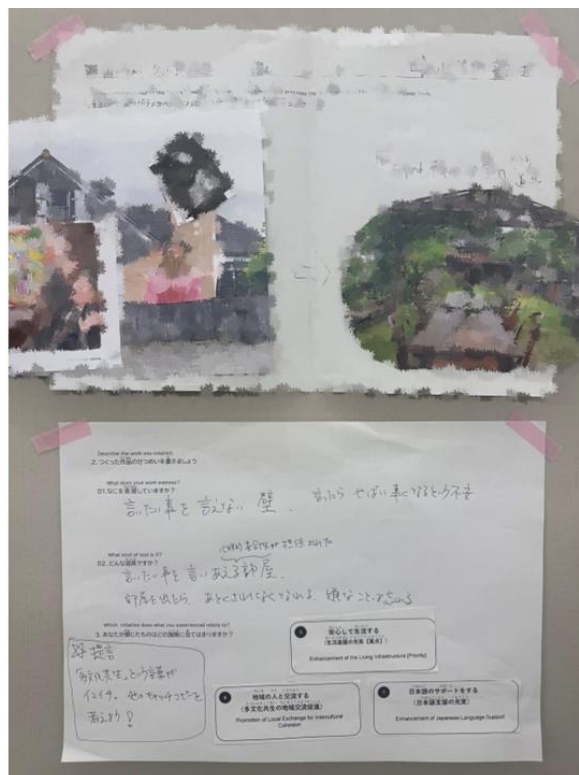
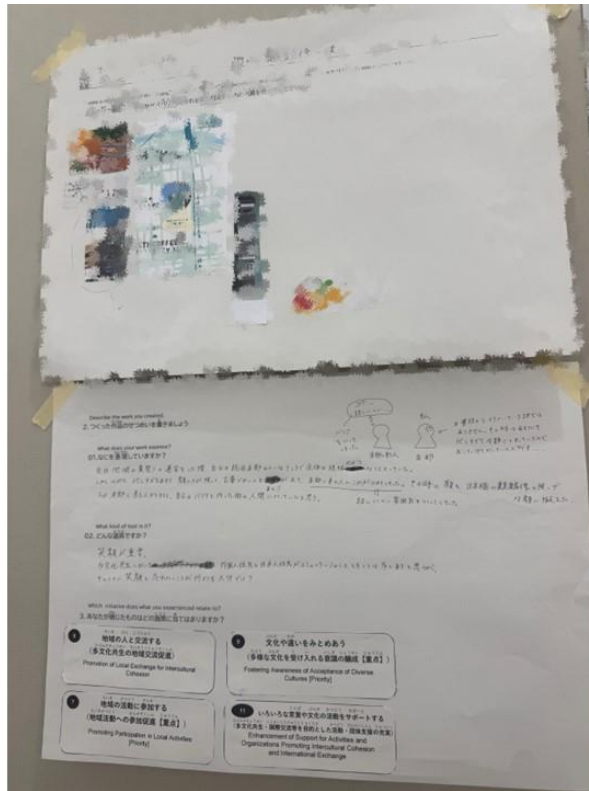


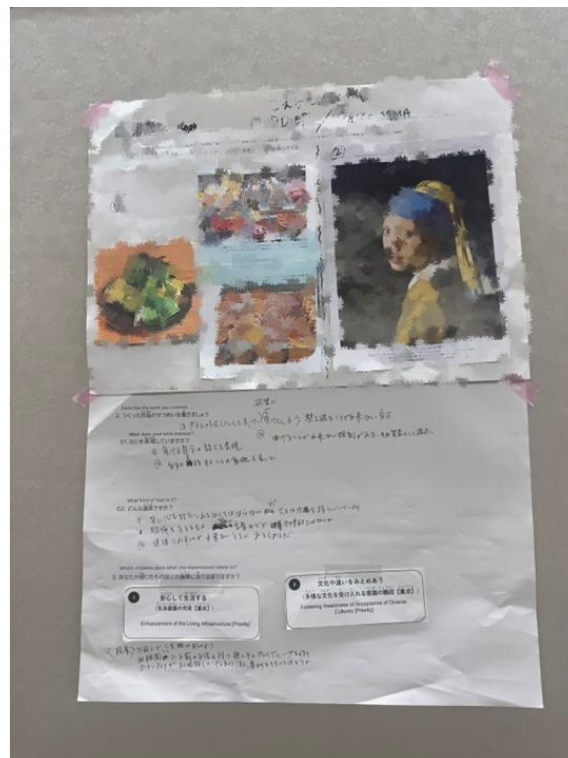
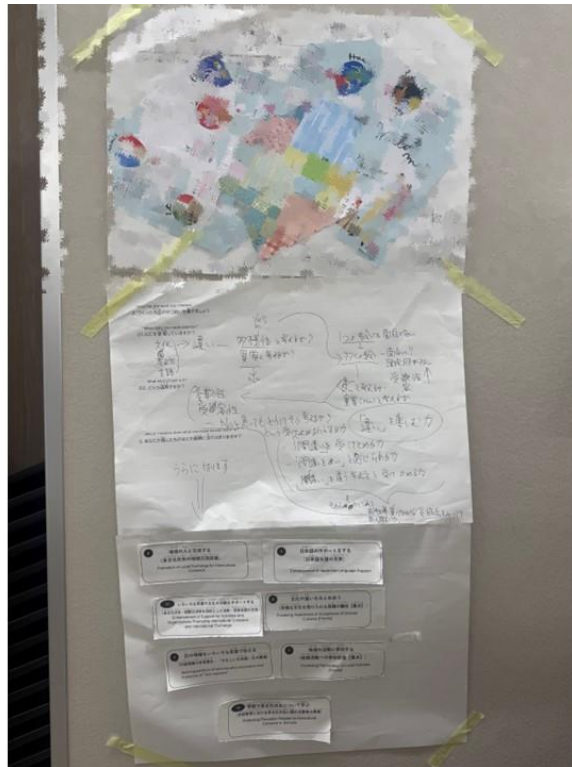














Describe the work you created.
2. つくった作品のせつめいを書きましょう

What does your work express?
01. なにを表現していますか?

人生観: 人生ってどうだろう... もっと楽しい世にはないか? じゃかに行きたいな

What kind of tool is it?
02. どんな道具ですか?

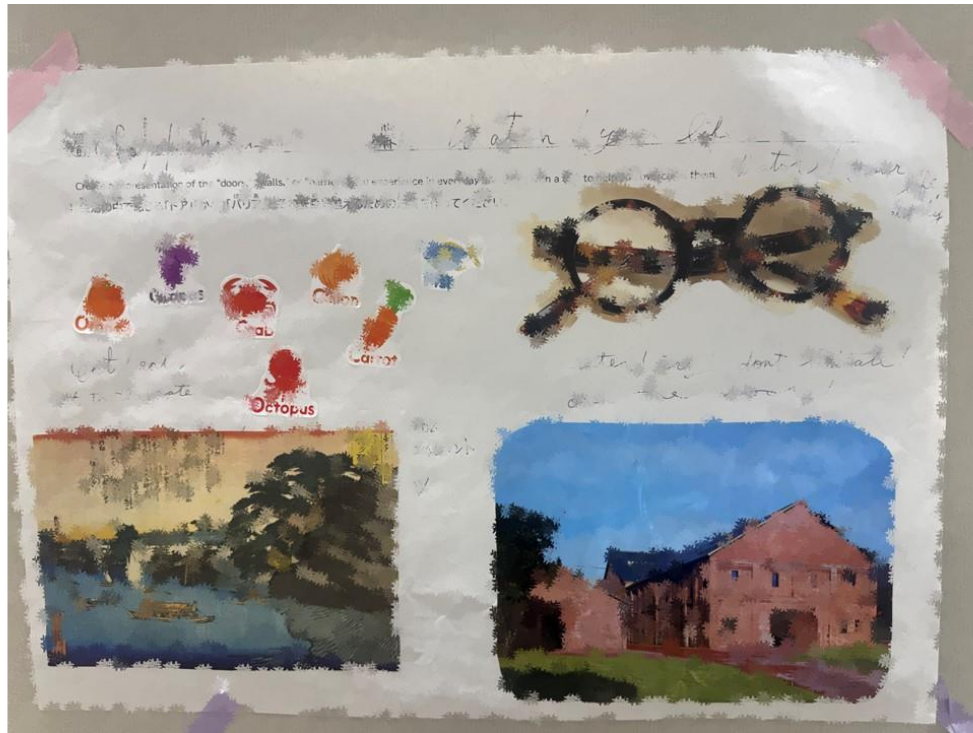
・お酒 ストレスソール
・めいそう 自然のふれ
・紙、人と会う話

Which initiative does what you experienced relate to?
3. あなたが感じたものはどの施策に当てはまりますか?

文芸・音楽・アート 31900

活動の促進 (地域・学校・社会)
区を越えて (区内外生活者の交流)
交流の促進 (区内生活者の交流)
多文化共生推進

9 安心して生活する (生活基盤の充実【重点】) Enhancement of the Living Infrastructure [Priority]	11 いろいろな言葉や文化の活動をサポートする (多文化共生・国際交流等を目的とした活動・団体支援の充実) Enhancement of Support for Activities and Organizations Promoting Intercultural Cohesion and International Exchange	7 地域の活動に参加する (地域活動への参加促進【重点】) Promoting Participation in Local Activities [Priority]
9 文化や違いをみとめあう (多様な文化を受け入れる意識の醸成【重点】) Fostering Awareness of Acceptance of Diverse Cultures [Priority]	10 学校で多文化共生について学ぶ (学校教育における多文化共生に関わる教育の推進) Promoting Education Related to Intercultural Cohesion in Schools	6 地域の人と交流する (多文化共生の地域交流促進) Promotion of Local Exchange for Intercultural Cohesion



Describe the work you created.
2. つくった作品のせつめいを書きましょう

What does your work express?
01. なにを表現していますか?
めかぬーバリアを乗り越える為には
何ババリアかをジックリ見なさい!

対物ー入っておいで! ヘジテいしないで! 人内へ抱えるドア
カベ
バリア

What kind of tool is it?
02. どんな道具ですか?

Which initiative does what you experienced relate to?
3. あなたが感じたものはどの施策に当てはまりますか?

11 いろいろな言葉や文化の活動をサポートする (多文化共生・国際交流等を目的とした活動・団体支援の充実) Enhancement of Support for Activities and Organizations Promoting Intercultural Cohesion and International Exchange	3 安心して生活する (生活基盤の充実【重点】) Enhancement of the Living Infrastructure [Priority]
7 地域の活動に参加する (地域活動への参加促進【重点】) Promoting Participation in Local Activities [Priority]	6 地域の人と交流する (多文化共生の地域交流促進) Promotion of Local Exchange for Intercultural Cohesion
	9 文化や違いをみとめあう (多様な文化を受け入れる意識の醸成【重点】) Fostering Awareness of Acceptance of Diverse Cultures [Priority]



Describe the work you created.

01. つくった作品のせつめいを書きましよう

What does your work express?

01. なにを表現していますか?

図の型
(日本と北米の人)

What kind of tool is it?

02. どんな道具ですか?

ナイフと鉛筆

言語 文化の両方
コミュニケーション
している。がある。
↓
両方の文化を表現すること
↓
その両方について
1つのものをよりよく知る。

Which initiative does what you experienced relate to?

3. あなたが感じたものはどの施策に当てはまりますか?

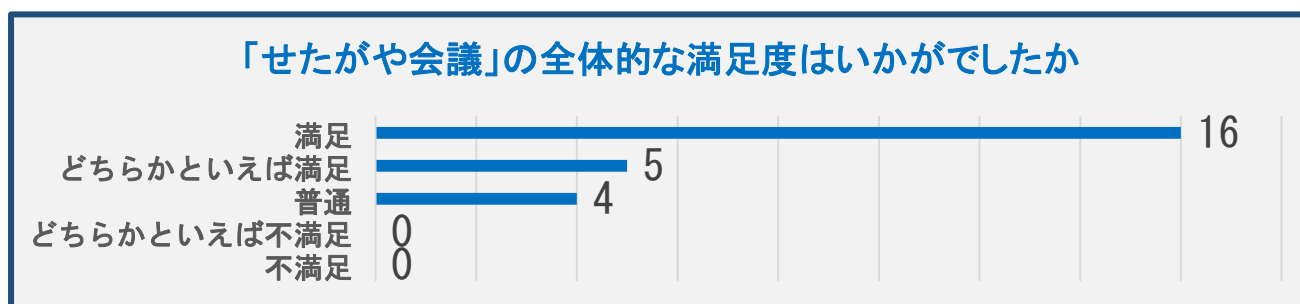
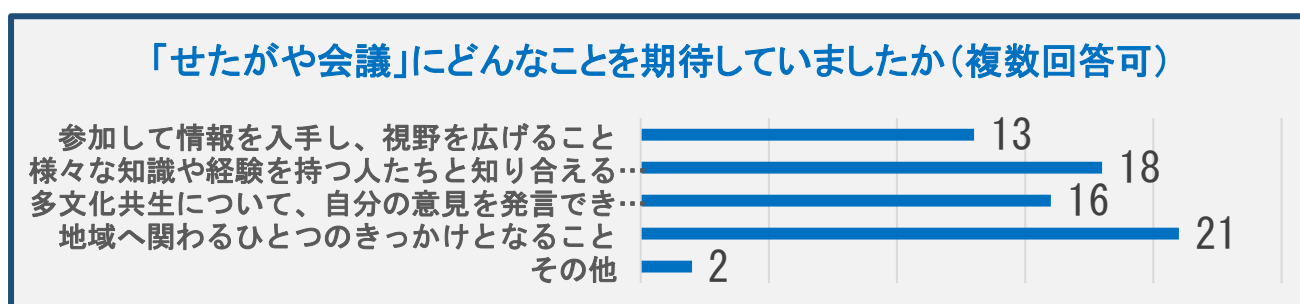
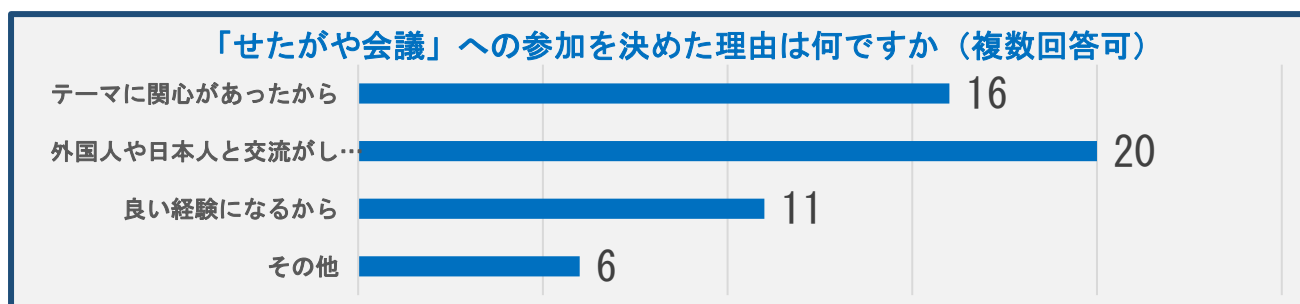
日本語のサポートをする
(日本語支援の充実)

Enhancement of Japanese-Language Support

文化や違いをみとめあう
(多様な文化を受け入れる意識の醸成(重点))

Fostering Awareness of Acceptance of Diverse Cultures (Priority)

9. 参加者アンケート集計（回答者：28名 ※関係者含む）



【その他、ご意見・感想等（抜粋）】

- ・また開催をお願いします！！
- ・外国人と日本人が交流できるイベントがもっと増えたらいいな。
- ・継続することで、外国人＋日本人の小さなコミュニティができると思う。区のコミュニティから新しい企画やアイデア（区民が創る）を基に世田谷の地域社会を創れば良いと思う。アイデア出し等協力できと思う。
- ・一緒に食事をして（500円位）→会議→
- ・本日はありがとうございました。外国人のみならず、様々なご経験やお考えをお持ちの多様なことを聞くことができ、とても有意義だった。また機会があれば、よろしくお願いいたします。
- ・「多文化共生」のキャッチコピーを今回や次回のこの会議で考えてみたい。
- ・しつこいけど。「多文化共生」という言葉からの脱却。
- ・楽しかったです。ありがとうございました。